



厚生労働省
岩手労働局

Press Release

厚生労働省岩手労働局発表
平成 28 年 7 月 29 日（金）

【照会先】

岩手労働局職業安定部職業安定課
課 長 佐々木 義 彦
課長補佐 佐々木 裕 智
電話 019-604-3004

報道関係者 各位

平成 27 年度公共職業安定所のマッチング機能に関する
業務の総合評価の結果等について公表します！

岩手労働局（局長 久古谷 敏行）では、県内の平成 27 年度公共職業安定所のマッチング機能に関する業務の総合評価の結果等について、**別紙 1**「平成 27 年度における総合評価結果」のとおりとりまとめましたので公表します。

その結果は、「非常に良好な成果」が 2 所、「良好な成果」が 7 所、「標準的な成果」が 1 所と、全般的に良好な結果となりました。

併せて、関連する資料として、**別紙 2**のとおり各ハローワークにおける「就職支援業務報告（平成 27 年度）」を公表します。

また、全国の総合評価結果の総括については、先に開催された「労働政策審議会職業安定分科会」（東京）において報告されたところですが、その際、取り組みの好事例としてハローワーク大船渡（「非常に良好な成果」と評価）が紹介されました（参考 3）。

【参考】

平成 26 年 6 月 24 日に『「日本再興戦略」改訂 2014～未来への挑戦～』が閣議決定され、外部労働市場の活性化による失業なき労働移動の実現に向け、官民協働による外部労働市場の求人・求職マッチング機能の強化を図ることになったことから、平成 27 年度よりハローワークの機能強化のため、次の取組を行っています。

- ① PDCA サイクルによる目標管理・業務改善
- ② マッチング機能に関する業務の総合評価
- ③ 評価結果等に基づく全国的な業務改善

この中で、②の総合評価に関連して、平成 27 年 4 月内容から主要指標 3 項目の進捗状況について、毎月公表しています。

平成27年度における総合評価結果

別紙1

岩手労働局職業安定部職業安定課

ハローワークの名称	総合評価の評語
ハローワーク 盛 岡	良好な成果
ハローワーク 釜 石	良好な成果
ハローワーク 宮 古	非常に良好な成果
ハローワーク 花 巻	良好な成果
ハローワーク 一 関	良好な成果
ハローワーク 水 沢	標準的な成果
ハローワーク 北 上	良好な成果
ハローワーク 大船渡	非常に良好な成果
ハローワーク 二 戸	良好な成果
ハローワーク 久 慈	良好な成果

【全国と岩手のハローワークの類型ごとの状況】

類型	総合評価の評語	類型ごとの状況	
		全国(427所)	岩手局(10所)
類型1	非常に良好な成果	16	2
類型2	良好な成果	198	7
類型3	標準的な成果	207	1
類型4	成果向上のため計画的な取組みが必要	6	0

ハローワーク盛岡 就職支援業務報告（平成 27 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、所重点項目においては「職業紹介業務の強化」を最重要と考え、平成 27 年 10 月から就職ミニ面談会を 14 回開催し 28 名の採用が決まりました。特に平成 28 年 2 月に 2 回開催した事業所見学と就職ミニ面談会では、10 名の採用者が決まり特に効果が得られました。また、第 3 三半期では職員相談員研修を特に充実させ合計 21 回開催し、職員相談員述べ 338 人が紹介技法等の向上を図った結果、就職件数で 104 件、充足件数で 178 件目標を上回りました。

また、平成 27 年 7 月より、職員 1 名求人者支援員 4 名により「求人担当者制」を実施し、全体で求人件数 193 件、求人数 244 人の求人に対して、紹介部門と連携した支援を行い充足数 151 人を達成、求人に対しての充足率 61.9%と効果が得られました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求職者アンケートでは、事業所情報の期待度と満足度の乖離が大きく、相談担当者のスキルアップを図り、ミニ面接会・事業所見学会の継続的な取組を行うとともに、求人部門と連携を図り事業所訪問を行い、求人の業務内容を的確に把握し、画像情報を活用しながら職業相談の質の向上を図りました。求人者アンケートでは、求職者を厳選して紹介してほしいとする項目が、期待度を大きく下回る満足度であったことから、ミニ面接会・事業所見学会の実施、各種事業所情報の提供など現行の取組を継続し、平成 28 年度においても実施することとしています。なお、スキル不足の求職者にあっては、職業訓練の内容について説明し、希望者については担当部門へ誘導しています。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

各部門・課との連携を強化し、効果的な業務運営に努めるとともに、ハローワークの積極的な P R 活動による窓口への誘導を行い、潜在的利用者の登録を進めるとともに、来所勧奨型紹介を積極的に推進します。

（4）その他業務運営についての分析等

管内の主要産業がサービス業であることから、盛岡所管内平成 27 年度の正社員求人倍率 0.55 倍、新規求人における正社員求人割合 32.7%と全国平均と比較し低い状況にあり、引き続き拡充されたキャリアアップ助成金等を活用した正社員採用の検討を事業所へ促す必要があります。特に年度末の求職者にあっては、新規求職者に占める在職者の割合が離職者を上回っていることから、上向移動を目指す求職者ニーズに対応していく事も求められています。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

(1) 検討を重ねながら業務運営を行い、目標達成率を向上させた。

三半期ごとに目標達成のための取組を掲げ、各課・部門が連携を図りながら業務を進めた結果、第3三半期においては目標数を上回ることが出来ました。

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	障害者の就 職件数	学卒ジョブサ ポーター支 援による正 社員就職件 数	正社員求人 数	正社員就職 件数	開拓求人の 充足数	新規高卒者 の県内就職 割合	障害者のチ ーム支援に よる就職件 数
実績	9,416	10,228	2,312	96.3%	93.2%	23.6%	491	1,958	15,956	3,699	1,652	67.0%	54
目標	9,777	10,565	2,265	90.0%	90.0%	22.5%	351	1,665	16,005	4,216	1,658	66.1%	17
目標達成率	96%	97%	102%	107%	104%	105%	140%	118%	100%	88%	100%	101%	318%
(参考)震災前3年度平均	9,983	10,930	2,313										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク釜石 就職支援業務報告（平成27年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、全般的な人手不足に対して、いかに充足を図るかを重点としました。

通常、受理した求人は毎週1回求人情報を2,300部印刷し、市町の機関のほか釜石駅、大型商業施設及びローソンに備付けています。この受理した求人のうち正社員求人を抽出し、さらに職種別に区分した求人情報を庁舎内に備付けし、正社員求人の充足を図っています。

なお、当該正社員求人は、「建設分野」（月に2回発行・各100部）、「福祉分野」（月に2回発行・各100部）、「事務・管理的職業」（月に4回発行・各50部）、「製造の職業」（月に4回発行・各50部）及び「販売の職業」（月に4回発行・各50部）の区分です。

また、特に人手不足が顕著である業種あるいは職種に対しては、事業所見学会または就職面談会を実施しました。

具体的には、「建設現場見学会」（H27年7月30日、求職者7名）、「イオンタウン釜石合同就職面談会」（H27年8月12日、求人10社、求職者14名）、「水産加工業職場見学会」（H28年3月15日、2社、求職者3名）

なお、業種・職種を特定しない「釜石・大槌地域就職面談会」を平成28年3月17日に開催し、50社、44名の求職者の参加を得ました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

ハローワークサービス満足度調査においては、求人者からの回答で「より多くの紹介を求める」項目が高い数値を示していたため、以下について改善を図りました。

- ・求職者の就労意欲を更に喚起することを目的に、求人検索機への各種イベントの周知等の頻度を増やした。
- ・特に来所が困難な方が多い大槌町に対し、就業場所が大槌町である求人情報（建設、福祉・介護、販売、接客関係）を作成し、町HP等への掲載を行うことを始めた。
- ・有効求職者が平成24年4月以降減少傾向にあることに着目して、潜在的な求職者発掘のためのアンケート調査を実施した。

（3）今後のサービス・業務改善の取り組みについて

水産加工工場が引き続き平成28年度も新設、増設が続くため、「水産加工職場見学会」を前年度より回数を増やし、3Kのイメージを払しょくしながら充足に努めます。

また、初回認定日セミナーを利用して、水産加工業または福祉看護業の事業所から企業説明を行うことを検討しています。

(4) その他の業務運営についての分析等

平成 27 年度は、有効求職者数の減少が続いていることもあり、就職件数、充足件数等目標達成率がそれぞれ 94%に留まりました。有効求職者数の減少については、復興の長期化による人口流出や地域の高齢化の要因もあるため今後も続くと推察されます。一方、満足度調査によると求人者はより多くの紹介を求めており、求人者の期待に応える必要があります。よって求職者担当者制を重要視し、求職者へのより定期的な情報提供等の個別支援の実施、事業所見学会等を通じた地域の事業所に対しての理解度を深める取組みを行うことで対応していきます。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

特になし。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	障害者の就 職件数	ハローワー クの職業紹 介により正 規雇用に結 び付いたフリ ーターの数	公共職業訓 練の修了3 ヶ月後の就 職件数				
実績	1,912	1,657	385	95.2%	96.5%	46.6%	97	307	41				
目標	2,040	1,769	388	90.0%	90.0%	47.4%	96	199	38				
目標達成率	94%	94%	99%	105.5%	107%	98%	101%	154%	108%				
(参考)震災前3年度平均	1,886	1,658	357										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク宮古 就職支援業務報告（平成27年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、震災後5年が経過しているものの緊急雇用創出事業等をはじめとする震災関連離職者の再就職を最優先し、主要指標の目標達成に取り組んできました。

求職者サービスについては、来所勧奨型紹介の強化や求職者担当者制を一般求職者にも対象範囲を広げるなどの見直しを行いました。更に、応募書類の作成指導についても力を入れた他、紹介担当者による事業所訪問を実施することにより、紹介成功率の向上に結び付けることが出来ました。また、ミニ面接会を82回(延82社344人)、事業所見学会を4回(5社27人)それぞれ開催し、事業所のPR及び求職者の就職促進を図ることができました。

事業所サービスについては、人手不足が顕著な「建設」「介護」「水産加工」の各分野について求人担当者制による支援を行ったほか、新たにミニ充足会議を策定実施し充足の向上に取り組みました。

また、所で選択した取組として、フリーターの正社員の就職件数、訓練修了生の就職件数、マザーズコーナー利用者の就職率の向上に努めた結果、著しい成果を上げることが出来ました。特に、職業訓練支援については訓練修了日に合わせた面接会の実施により就職率100%の成果をあげた他、マザーズコーナーにおいてもきめ細かな窓口相談や状況の把握に努めた結果、就職率96.1%と高い成果を上げることができました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートでは、雇用保険受給者の呼び出し方法についてプライバシー配慮の意見があり、名前による呼び出しから番号札による呼び出しに改善をいたしました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

28年度は前年度の反省を踏まえ、更なる個別支援の充実に取り組みます。

具体的には、担当者制の見直しや個別支援プログラム（企業説明会、面接会、グループワーク等）の実施により、求職者と事業所の接点を増やすことによる相互理解と信頼関係の構築を目指し、早期再就職の推進が図られるように改善を行います。

また、当所管轄地域は広域で山間部が多く交通弱者が多く存在することから、遠方地域への出張相談や企業面談会を企画して利用者からの信頼の向上に努めます。

更に、好評であった職業訓練生に対する積極的な再就職支援の実施や、子育て等両立支援のサービス向上を図る目的からマザーズコーナーの利用促進及び就職率の向上に、前年度に引き続き取り組みます。

(4) その他業務運営についての分析等

平成 27 年度は、当所管内の人手不足業種(建設, 水産加工, 福祉)について求人担当者制等の取り組みを行いましたが、賃金や雇用環境面でのミスマッチにより、就職数、充足数ともに成果を上げることが出来ませんでした。

特に、建設関連の有資格者求人については、賃金が高い管外・県外の事業所へ就職するケースが目立った他、緊急雇用創出事業等の官公庁求人にも多数採用される傾向も見られたことから、引き続き正社員求人の開拓に努めます。(参考：正社員求人受理計画 3,314 件、実績 3,253 件(26 年度実績 3,053 件)、進捗率 98.2%)

また、今後、震災復興工事が終息に向かい求人や作業員の減少により、急速に地元経済や雇用環境の悪化が考えられることから、沿岸広域振興局や市町村、更には事業主団体等と定期的に情報交換を行い、早期の雇用対策が講じられる環境作りや、正社員や求職者ニーズに沿った求人開拓に努めます。

更に、技術の継承等企業の後継者不足も懸念されることから、新規学卒者等若年者の定着支援や地元企業を知ってもらうためのイベント（企業説明会等）の実施を前年度に引き続き実施します。

2 総合評価 (※)

非常に良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

【マザーズコーナーの取り組み事例】

- 相談員 2 名による担当者制の相談を実施し、就職までの支援見込みや支援方法について検討している。
- 支援対象者の求職活動を「相談一覧票」に記録し日々進捗状況を把握することにより、重点支援者の就職率は 96.1%となっている。
- 一覧表には、就職する際の子供預入等の協力者の有無を把握する項目を設けており、就職支援の際の重要なポイントとなっている。
- プレ相談後の初回相談については、希望職種や勤務時間等の希望条件や子育て等の家庭環境について時間をかけて詳細な確認を行っている。
- プレ相談においては、就労環境が整わない者（保育園等預け先が不明な者）についても希望により求職登録をしてもらい、その後開催する「再就職準備セミナー」の案内や、当コーナーの利用を促す等の求職者掘り起しのベースになっている。

- ＜参考＞
- ・新規登録者数 344 人（うち重点支援者 257 人）
 - ・重点就職件数 247 人（就職率 96.1%）
 - ・1 カ月以内の就職割合 73.7%（26 年度データ）
 - ・育児協力者の有無 有り 62.1% 無し 30.7%（26 年度データ）

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	紹介により 正規雇用に 結びついた フリーター等 の件数	公共職業訓 練の修了 3 か月後の就 職件数	マザーズ HW 事業におけ る重点支援 対象者の就 職率				
実績	2,125	1,874	484	98.4%	96.4%	48.8%	234	59	96.1%				
目標	2434	2228	434	90.0%	90.0%	48.0%	177	29	87.5%				
目標達成率	87%	84%	112%	109%	107%	102%	132%	203%	110%				
(参考)震災前3年度平均	1,993	1,831	411										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク花巻 就職支援業務報告（平成２７年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

当所は、県内唯一のポリテクセンターを有しているため、職業訓練関係業務に積極的に取り組んでいる。就職支援策として、求職情報の作成を行い、求人開拓時に情報の提供を行うなどした結果、目標の４５名を上回る８６名の就職を達成することが出来ました。

また、高校就職者の県内就職率８０％以上を目指し、「ハローワークシュウカツぷらん」による就職希望者の積極的な指導を行ったほか、県及び市と連携し、経済団体等への要請を行うなどした結果、目標である８０％を上回る８０．６％を達成しました。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

当所の庁舎は老朽化や手狭なため、利用者アンケートにおいて案内表示や見やすい展示等に「できている」の評価が低かったため、案内表示を大きくしたり、カラー印刷による表示に変え、また、定期的に点検を実施するなど改善を図りました。

（３）今後のサービス・業務改善の取組について

利用者アンケートにおいて、求人者より予想以上に満足度が低いことが分かり、もっと積極的に事業所への働きかけの必要性を感じたため、２８年度においては、事業所訪問を積極的に行うこととしました。

（４）その他業務運営についての分析等

予想を上回る新規、月間有効求職者の減少により有効求人倍率が高止まりしており、求職者担当制の積極的活用や各種セミナーの勧奨等により、求職者のスキルアップを図ったり、ミニ面接会の実施による出会いの場の創出などを行い、求人充足の増加を図っていきます。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	ハローワークの 紹介により正規 雇用に結び付い たフリーター等の 件数	職業訓練の修 了3か月後の 就職件数	開拓求人の 充足件数	新規高卒者 の県内就職 割合			
実績	2,763	2,440	515	89.0%	94.2%	38.3%	356	86	891	80.6%			
目標	2,762	2,633	521	90.0%	90.0%	30.8%	299	45	765	80.0%			
目標達成率	100.0%	93%	99%	99%	105%	124%	119%	191%	116%	101%			
(参考)震災前3年度平均	3,011	2,748	466										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワークー関 就職支援業務報告（平成２７年度）

１ 所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、所重点項目においては「ミニ面接会・管理選考の実施」の取組の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、ミニ事業所見学会を積極的に実施することが出来ました。ミニ事業所見学会は年間１７回行い参加者における１７人を採用に結びつけることが出来ました。この取組については、利用者から「求人票だけでは分からない会社の実態がよく分かった」などの評価をいただいています。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートでは、事業所面接会の開催希望などの意見が多かったため、業務改善の取組として、平成２７年度から新たに、所管内の実情として特に人手不足な分野である福祉・営業・保育の職種別事業所面談会を年間４回行い、参加者における１３人を採用に結びつけることが出来ました。

（３）今後のサービス・業務改善の取組について

平成２７年度より実施した職種別事業所面談会について参加された事業所・求職者から好評であったため、今年度も継続的に取り組みます。また、今年度は福祉関連の面談会を複数回開催し、より一層、人手不足分野の就職促進を図ることとします。

（４）その他業務運営についての分析等

管内の自治体や商工会議所等と連携し、地元企業の魅力を周知する為、「高校３年生を対象とする求人情報交換会」、新規事業として「２年生対象の高校生未来さがしプロジェクト」、「中東北就職ガイダンス」を実施し、企業・高校より好評を得ていることから、今年度も継続して実施します。

また、自治体と連携しマザーズコーナーの出張相談を平成２７年度より実施しており、今年度からは若者サポートステーション等へのお出張相談も実施し求職者の掘り起しを図っています。

2 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

保育士確保集中キャンペーンの一環として平成28年3月4日に当所初の試みとなる「保育の仕事説明会及び面談会」を開催しました。事業所8社・求職者41人が参加し、事業所からのプレゼンテーションと個人面談を通じ、教育目標や方針、施設の特徴、運営状況をそれぞれ紹介しながら事業所に対する理解を深め、7人を採用に結びつけることが出来ました。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	学卒ジョブサ ポーターの 支援による 正社員就職 件数	ハローワークの 職業紹介により、 正社員に結びつ いたフリーター等 の件数	公的職業訓 練の修了3 ヶ月後の就 職件数	正社員求人 数			
実績	3,139	2,686	679	97.1%	96.6%	31.2%	252	334	51	4,781			
目標	3,315	2,806	651	90.0%	90.0%	30.4%	175	272	40	4,985			
目標達成率	95%	96%	104%	108%	107%	103%	144%	123%	128%	98%			
(参考)震災前3年度平均	3,355	3,092	633										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク水沢 就職支援業務報告（平成27年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、「雇用保険受給者の早期再就職件数」を重点的に進めることとし、正社員求人の確保や就職支援所独自セミナーの開催及び委託セミナーへの受講勧奨による就職支援を積極的に取り組みました。正社員求人は目標の4,618人を上回る4,752人を確保、セミナー実施及び受講勧奨の成果として、雇用保険受給者の早期再就職件数も目標の680人を上回る738人（平成28年2月末現在）となりました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートで「イベント毎のパンフレットは用意されているが、当日開催のイベントが分かりづらい。」との意見があり、玄関風除室にイベント掲示板を設置し、当日開催のイベント情報（求人説明会、専門家による巡回相談等）を掲示するように改善を行いました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

求人者支援サービスとして、求人説明会&面接会を5回、求人事業所見学会を5回、合わせて10回開催したが、目標の13回より少なかったため、今後においては他のハローワークの取り組みなども参考とし、より多くの求人事業所に参加していただけるよう改善を図ることとします。

また、所独自セミナー「就活ポイントセミナー」は参加者から好評であったため、継続実施するとともに新たな内容（DVD利用による職務経歴書セミナー）の追加も検討します。

（4）その他業務運営についての分析等

平成27年度は、新規求職申込件数が7,678件で▲1,096件減少し、新規求職申込件数に占める在職者割合が約4割の状況であったため、就職目標件数3,328件に対し3,037件、正社員就職目標件数1,528件に対し1,347件に終わりました。これまでの管内状況等より推測すると今後も新規求職申込件数の大きな増加は見込まれないものの、所独自セミナーの開催及び委託セミナーの受講勧奨による就職意欲の喚起を図り、求職者担当制による来所勧奨型紹介の積極的なマッチングの実施により、就職件数の増加を目指します。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	障害者の就 職件数	正社員求人 数	正社員就職 件数	新規高卒者 の県内就職 割合			
実績	3,037	2,877	788	95.9	96.6	32.3	100	4,752	1,347	62.8			
目標	3,328	3,037	736	90.0	90.0	26.9	127	4,618	1,528	58.6			
目標達成率	91.%	95 %	109 %	107 %	107 %	120 %	79%	103%	88%	107 %			
(参考)震災前3年度平均	3,231	2,872	669										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク北上 就職支援業務報告（平成２７年度）

１ 所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

所重点項目である「生活保護受給者の就職件数」の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、北上市保健福祉部福祉課と連携した生活保護受給者等に対する就労支援の取り組みを行うことができました。児童扶養手当受給者は就業中で来所相談を頻繁にできない方が多いため、毎週金曜日に発行の週刊求人ニュースを定期送付したほか、就職した支援対象者には定着支援の一環として就職後の状況確認や困りごとがあった場合は、ハローワークに相談するよう文書送付を実施するなどの取り組みにより、支援対象者の就職目標件数８０件以上に対し１１３件（目標達成割合 141.3%）とすることができました。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

平成２６年度の利用者アンケートでは多くの方から駐車場不足の要望があり、近隣に無料で利用できる駐車場を確保して一定の理解は得られましたが、平成２７年度においても一部要望があり、今後の課題です。

求人申込利用者の利便性を検討のうえ、「インターネット求人情報仮登録」の手続きを平成２７年５月より開始しており、利用者から好評を得ている。

（３）今後のサービス・業務改善の取組について

北上市・北上雇用対策協議会との共催による「北上地域合同就職相談会」を５月から２月まで毎月開催しましたが、企業・求職者の参加が減少し課題も多かったことから、平成２８年度においては名称を「北上地域のしごと相談会」に変更して、５月から来年２月までに隔月で計６回開催し、参加勧奨・周知を前年度以上積極的に取り組むこととしております。

民間駐車場について近隣には一定台数を確保できる空き物件がなく、庁舎から遠距離の場合には利用が図られないことや当所利用者以外の無断駐車も考えられる等課題もあることから、今後も利用状況を確認しながら、場所や管理面も含め民間駐車場の確保を検討していく必要があります。

（４）その他業務運営についての分析等

北上市の積極的な企業誘致により、大手コンビニエンスストアむけ食品製造会社等の平成２７年春操業開始にあたり多数の求人が申込まれたものの、前年度中に求人申込みされ、大半の採用処理が３月までとなったことから、平成２７年度に求職者数や就職者数を増加させるまでには至りませんでした。

2 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護受 給者の就職 件数	障害者の就 職件数	公的職業訓 練終了3ヶ 月後の就職 件数	新規高卒者 の県内就職 割合			
実績	2,599	2,738	638	97.1%	95.5%	30.0%	113	88	42	62.6%			
目標	2,932	2,754	586	90.0%	90.0%	26.8%	80	110	48	67.0%			
目標達成率	89%	99%	109%	108%	106%	112%	141%	80%	88%	93%			
(参考)震災前3年度平均	2,745	2,621	526										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク大船渡 就職支援業務報告（平成27年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、所重点項目においては人材不足対策を最重要と考え、早期就職促進と求職者の掘り起しのため事業所見学会・施設見学会を年間9回開催。参加者からは「実際の現場を見ることが出来て参考になった。応募を検討したい」との評価をいただいております。

また、子育てママの支援として出張相談会を毎月1回開催し、前年度は38名の相談者中10名（26.3%）が就職しました。その他、住田町役場との意見交換において、町民から「町内で職業相談を実施して欲しい」との声があったことから、同役場からの要請により2月から住田町出張相談を試験実施しました。また、各自治体の他コンビニ等12店舗への求人情報作成配布や人手不足3分野（建設、福祉（介護）、食品製造）の有効求人との交互の掲載、定期的な画像収集による事業所情報提供の取り組みについても、それぞれ評価をいただいております。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

人材不足対策の一環として、正社員求人のホットコーナーへの貼り出し、採否結果の分析貼り出し、水産マップの作成の他、子育てママの出張相談会等のモニター放送を実施する等各種支援メニューの充実を図りました。更に、住田町民の要望を受けた出張相談、人手不足業種（建設、福祉、製造）に特化した求人情報の作成配布を実施しました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

事業所・施設見学会開催時において、事業所説明事項の変更を打診（設備・作業風景の説明に加え、休憩場所等福利厚生面や就業時間の配慮）するなど求職者の視点にそった説明を提案し高評価を得ております。

また、子育てママの出張相談では、求職未登録者も存在することから、本人の意向等（希望労働条件等）踏まえ登録勧奨していく予定です。

（4）その他業務運営についての分析等

充足件数（常用、受理地ベース）が目標を達成できなかったため、これまで以上に事業所訪問を行い、非正規雇用の正社員登用化を周知徹底すると共に、雇用関係資料を活用した求人条件の緩和指導を行い、求人求職のマッチング業務を推進していきます。

2 総合評価（※）

非常に良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

人材不足分野への対策としては、事業所見学会定期開催による事業所情報や応募検討機会の提供、水産加工事業所への就職促進を目的とした「水産マップ」の作成、正社員求人の玄関フロアへの張り出し、町民の要望に応えた住田町出張相談会の開催、建設・福祉・製造業に特化した求人情報の定期発行及びコンビニ等12店舗への配布により、ハローワークの活用を呼び掛けました。

また、女性の活躍推進の観点から、子育てママの出張相談会開催、女性が働きやすい職場環境づくりに係る関係機関との情報交換会開催、働く女性のためのセミナーの開催、管内事業所における育児休業取得情報の提供（女性が働き易い事業所情報の提供）、子育てママの個別説明会を開催し高評価を得ております。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	介護・看護・ 保育分野の 就職件数	求人開拓の 充足件数	障害者のチー ム支援による 就職件数				
実績	1981	1812	359	96.4%	94.8%	44.5%	209	686	53				
目標	2092	2024	404	90.0%	90.0%	46.7%	170	318	35				
目標達成率	95%	90%	89%	107%	105%	95%	123%	216%	151%				
(参考)震災前3年度平均	1588	1456	339										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク二戸 就職支援業務報告（平成27年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、「就職件数（常用）」「生活保護受給者等の就職件数」「障害者のチーム支援による就職件数」の目標達成を最重要と考え特に重点的にすすめました。

就職件数（常用）の達成のため、「求職者担当制」の運用の改正を図り年間対象者 60 人、就職率 40%を目標とし実施。雇用保険受給者、特に緊要度の高い受給者のほか、給付制限中の受給者への支援、訓練受講者支援など強化し実施したところ、27 年度支援対象者 193 人、就職者数 116 人、就職率 60.1%となりました。

生活保護受給者等の就職件数の達成のため、生活困窮者自立支援法施行に伴い特に関係機関との関係構築に重点を置くこととし、「二戸地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会」に町村にも構成員となっていただくよう働きかけ結果として、県、市町村、地域社会福祉協議会との支援体制が充実、35 件の目標に対し 49 件の就職となりました。

障害者のチーム支援による就職件数達成のため、関係機関との連携を重点に置き職業訓練受講対象者及び支援学校卒業予定者の支援を行った。特に職業訓練受講者については「二戸地域チーム支援プログラム」に基づき実施。支援開始者目標数 12 名、支援対象者実績 12 名、就職目標数 7 名、就職実績 11 名となりました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

・見やすいポスター類の掲示、わかりやすいチラシ・パンフレット類の陳列

求人者からの満足度調査で特に低かったことから、庁舎ホールへの掲示・陳列については、職業紹介部門の職員が定期的に確実に点検・整理をする。事務室内の雇用保険窓口のポスター掲示については、掲示枚数の上限を 3 枚までとし、パンフレット類についてはケース以外に置かないこととし、管理課の職員が確実に管理します。

・雇用保険説明会と初回講習の分離化

雇用保険受給者へのハローワークの支援メニューを十分に周知するため、分離方式に切り替えて実施しています。

・無効求職者への再登録の案内

求職者の減少への対応として、案内を実施しています。

(3) 今後のサービス・業務改善の取組について

今後も求職者の減少が見込まれることから、職員・相談員が一丸となって、常に利用者の目線で、「満足していただけるサービス」を提供し、一人でも多くの就職と一件でも多くの充足に結び付ける努力を継続していかねばならないと考えております。

(4) その他業務運営についての分析等

平成 27 年度後半より新規求人数が前年を上回る状況で推移している一方で、求人相談会（ミニ面接会）の実施は低調に終わったため、次年度は求人者担当制の実施を効果的に行い、求人相談会及び事業所見学会を実施したいと考えております。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

雇用保険受給者へのハローワークの支援メニューを十分に周知するため、平成 28 年 3 月より雇用保険説明会と初回講習を分離するセパレート方式に切り替え実施しています。また、求職者の減少への対応のため無効求職者へ再登録の案内を平成 27 年 9 月より実施した結果、平成 27 年度新規求職申込件数は前年比 0.3%減少にとどまっています。

目標管理の職員・相談員への周知及び意識付けのため、所長自ら作成の主要指標の資料にコメントを付し周知しているほか、毎月開催している職員・相談員全体会議においても、毎月の進捗状況等統括官より周知しています。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護受 給者等の就 職件数	公的職業訓 練の修了 3 ヶ月後の就 職件数	障害者のチ ーム支援に よる就職件 数				
実績	1,386	1,243	296	98.1%	96.1%	42.5%	49	23	11				
目標	1,260	1,164	235	90.0%	90.0%	36.2%	35	16	7				
目標達成率	110%	107%	126%	109%	107%	117%	140%	144%	157%				
(参考)震災前3年度平均	1,499	1,327	294										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク久慈 就職支援業務報告（平成27年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

主要指標3項目・生保受給者等の就職促進・新規学卒者の県内就職割合・障害者のチーム支援について重点的に進めることとし、目標達成に向け、「事業所訪問」及び「事業所見学会」「求人説明会」「ミニ面接会」の開催を積極的に推進しました。

特に「事業所見学会」「求人説明会」「ミニ面接会」については、求職者の就職意欲喚起をも見込み、平成27年度中途から新たな事業として、定期的を開催したものである。結果としては、「事業所見学会」8回・参加者227名・就職件数31件（平成26年度2回・27名）、「求人説明会」5回・参加者48名・就職件数8件（平成26年度なし）、「ミニ面接会」24回・参加者112名・就職件数71件（平成26年度なし）となり、当初の想定を大幅に超える多数の参加があり、高い求職者ニーズが確認できました。また、共同開催（地域自治体との連携）とした県北広域振興局および管内市町村からは、地元企業支援のため事業の継続・拡充を強く求められたもの。

また、求人票の「仕事の内容」欄について、求職者の視点にたったわかりやすい内容となるよう文字数81文字を100%実施したほか、求人条件緩和指導件を年間451件（成功率89.1%）実施するなど、基本業務を徹底したことも効果があったものと考えております。さらに、全職員体制の定期的な事業所訪問においては、新規高卒者対象求人の早期提出、正社員等良質求人の確保につながり、新規高卒者の管内就職割合が42.0%（平成26年度33.7%）と過去10年間で最高となったほか、正社員求人割合が43.6%（平成26年度37.7%）、正社員就職件数が39.1%（平成26年度31.9%）と平成26年度を大きく上回っております。

雇用保険受給者の早期再就職促進のための取組みとしては、雇用保険部門と職業紹介部門と連携した所独自の「めざせ！早期再就職セミナー」を新たに企画し、計26回（参加者153名）開催、うち56名が就職（うち残日数を2／3以上残して就職した者の割合50.0%）したものであり、高い効果が確認されました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートの結果、求人・求職とも満足度は98.0%と高い評価であったが、利用者アンケートのコメント欄の「事業所詳細情報が不足している」などの意見を参考に、目で見える情報として、画像情報の収集強化を図ることとし、新たに48件（平成26年度19件）の画像情報を確保しました。なお、「事業所見学会」「求人説明会」の積極的開催も、求職者の管内産業や求人事業所の理解促進を図るための取組みとなっております。

(3) 今後のサービス・業務改善の取組について

利用者からの要望が強い「事業所見学会」「求人説明会」「ミニ面接会」の定期的な開催及び、雇用保険受給者を対象とした所独自セミナーの開催など、高い効果が確認できた事業については、より効果的な内容となるよう検証・改善を図りながら継続していきます。

(4) その他業務運営についての分析等

平成 27 年度は、事業所の新規開設、工場の増設等に伴い、一定のまとまった求人の申し込みがあったこともあり、比較的順調に就職件数も伸びました。しかしながら、求人の増加に対し、求職者数は減少傾向にあり、求人を完全充足させるためには、潜在求職者の呼び込み等が次の課題となっており、来所勧奨型紹介等、求職者の確保が重点と考えております。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

特になし。

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護受 給者等の 就職件数	新規高卒者 の県内就職 割合	障害者のチーム 支援による就職 件数				
実績	1642	1548	364	98.0	98.0	46.2	46	49.8	17				
目標	1633	1523	350	90.0	90.0	40.5	40	47.0	11				
目標達成率	101%	102%	104%			114%	115%	106%	155%				
(参考)過去3年度平均	1446	1274	363										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

平成27年度 ハローワークの総合評価にかかる目標値一覧

岩手労働局

	全所必須指標					所重点指標											
	主要指標			補助指標		厚生労働省における全国目標値を基に労働局ごとに目標値を設定した業務指標										安定所と労働局が調整し設定したマッチング業務指標	
	就職件数 (常用)	求人 充足件数 (常用)	雇用保険 受給者の 早期再就職 件数	紹介成功率	①求職者の 満足度 ②求人者の 満足度	生活保護 受給者等の 就職件数	障害者の 就職件数	学卒ジョブ サポーターの 支援による 正社員 就職件数	ハローワーク の職業紹介 により、 正規雇用 に結びついた フリーター等 の件数	公的職業 訓練の修了 3か月後の 就職件数	マザーズ ハローワーク 事業における 担当者制 による就職 支援を受けた 重点支援 対象者の 就職率	正社員の 求人数	正社員 就職件数	介護・看護・ 保育分野の 就職件数	開拓求人の 充足件数	新規高卒者 の県内就職 割合	障害者の チーム支援 による 就職件数
岩手局計	31,573	30,503	6,570	過去3年度 実績の 平均以上	90% 以上 (満足度 調査に おける 「満足」 または 「まあ満足」 の 回答割合)	810	1,199	2,491	3,370	460	87.5	45,327	13,206	4,200			
盛岡所	9,777	10,565	2,265			-	433	1,665	-	-	-	16,005	4,216	-	1,657	66.1	17
釜石所	2,040	1,769	388			-	96	-	220	38	-	-	-	-	-	-	-
宮古所	2,434	2,228	434			-	-	-	177	29	87.5	-	-	-	-	-	-
花巻所	2,762	2,633	521			-	-	-	299	45	-	-	-	-	765	80.0	-
一関所	3,315	2,806	651			-	-	175	272	40	-	4,895	-	-	-	-	-
水沢所	3,328	3,037	736			-	127	-	-	-	-	4,618	1,528	-	-	58.6	-
北上所	2,932	2,754	586			80	110	-	-	48	-	-	-	-	-	67.0	-
大船渡所	2,092	2,024	404			-	-	-	-	-	-	-	-	170	318	-	35
二戸所	1,260	1,164	235			35	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	7
久慈所	1,633	1,523	350			40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	45.7	11

※ 「所重点指標」については、ハローワークの規模等により設定数が異なるとされており、設定しない項目は「-」としている。

平成28年度マッチング機能に関する業務の評価・改善の取組にかかる目標値一覧

岩手労働局

		主要指標 (必須)			補助指標 (必須)			所重点指標 (選択)													
		全国統一指標			全国統一指標			全国統一指標													局独自指標
所 名	所重点指標 選択数	就職 件数 (常用)	充足 件数 (常用)	雇用 保険 受給者 の早期 再就職 件数	紹介 成功率	求人に 対する 紹介率	求職者 に対する 紹介率	生活 保護 受給者 等の 就職 件数	障害者 の 就職 件数	学卒 ジョブ サポーター の支援に よる 正社員 就職 件数	ハロー ワーク の職業 紹介により、 正社員 に結び ついた フリー ター等 の件数	公的 職業 訓練の 修了 3ヶ月 後の就 職件数	マザーズ ハロー ワーク 事業における 担当者 制による 就職 支援を受けた 重点支 援対象 者の 就職率	正社員 求人数	正社員 就職 件数	介護・ 看護・ 保育 分野の 就職 件数	建設 分野の 就職 件数	生涯 現役 支援 窓口での65歳 以上の 就職率	求人 支援員 にかかる 開拓 求人の 充足数	新規 高卒者 の県内 就職 割合	障害者 の就職 件数に 対する 定着 指導 割合
岩手局		30,736	29,346	6,795	30.2	25.2	27.3	840	1,183	2,652	3,088	1,172	87.5	46,998	12,562	3,200	1,350	50.0	7,741	64.1	51.2
盛岡所	7	9,559	10,234	2,277	23.1	27.3	25.6	385		1,811		362		16,121	3,883				1,652		20.0
釜石所	3	1,988	1,672	390	46.9	20.5	26.9	45			195										46.4
宮古所	3	2,157	1,844	453	49.0	20.1	28.3				156		87.5		888						
花巻所	4	2,836	2,443	510	32.8	24.0	30.9	40				121		3,696							92.5
一関所	4	3,214	2,713	681	30.4	25.6	27.9	85			267		87.5								40.0
水沢所	4	3,145	2,968	843	29.1	29.5	28.5		100					4,831	1,384					62.9	
北上所	4	2,724	2,860	652	28.6	24.5	28.0	85			288									62.6	195.5
大船渡所	3	2,097	1,856	336	45.8	18.5	28.5								787	180			686		
二戸所	3	1,399	1,247	302	38.6	28.7	30.2	40			126	49									
久慈所	3	1,617	1,509	351	42.1	24.4	27.8								629					50.0	35.0

平成28年度に実施する総合評価の主要指標の主な取組み

岩手労働局職業安定部職業安定課

ハローワークの名称	就職件数	充足件数	雇用保険受給者の 早期再就職件数
盛岡	○企業説明会及びミニ面接会の積極的な実施・就職支援セミナーの開催・事業所訪問の積極的な実施・職員の相談技能向上のための取組及び分析の実施。	○求人者と求職者のマッチングのための検討会議の規模を拡大しての開催・求人担当者制による充足率の向上。	○雇用保険受給者へ就職支援メニューを詳細に紹介するとともに、講習内容等の充実。
釜石	○正社員等良質求人確保の為、計画的な事業所訪問。 ○積極的な相談連絡を実施、来所勧奨型紹介の実施。	○正社員等良質求人の充足サービスの一環として、事業所見学会および求人説明会をミニ面接会と一体的に開催。	○局主催の「就職支援セミナー」へ積極的に誘導。 ○所独自の「めざせ！早期再就職セミナー」開催し、早期再就職の促進。
宮古	○フリーワード検索等を活用したマッチングの実施。 ○積極的なセミナー受講による就職スキル向上。 ○地方自治体等と連携した面接会等の開催。	○求人票「仕事の内容」欄の完全記載並びに静止画情報の提供。 ○窓口職員等対象事業所見学会の実施。 ○就職相談会の実施。	○求職者の状況に応じた担当求職者制による就職支援。 ○就職支援セミナー等の受講誘導の積極的な実施。
花巻	○所独自の「就活実践セミナー」、「ビデオセミナー」の開催による再就職支援。 ○求職者担当者制の充実。	○求人者と求職者のマッチングのための検討会議の充実による求人支援。 ○求人事業所画像情報の活用。	○全員相談による能動的マッチング。 ○初回説明会時における再就職手当活用による早期再就職の意欲喚起。
一関	○求職者担当者制の実施により求人情報の提供、応募書類の作成指導・面接指導。 ○ミニ事業所見学会・職種別就職面談会を開催し人手不足分野での就職促進。	○応募状況を把握したうえで求人を選定し求人者と求職者のマッチングのための検討会議を開催。 ○一部充足している求人や印刷枚数の多い求人を掲示し早期応募を勧奨する。また、画像情報を収集して求職者に提供。	○認定日の全員相談の実施。 ○認定日の求人情報提供、緊要度・希望条件の再確認と補完。 ○雇用保険受給者の求職者担当者制の実施。
水沢	○求職者担当者制度の充実及び企業説明会等の各種イベントの開催。 ○求職者直接参加型の多角的交流のグループワーク実施。	○求職者担当者制による推薦と雇用保険受給者の参加勧奨による企業説明会と就職面談会の参加者増を目指す。 ○目的意識を持ち上記各種イベントの勧奨を行う事業所訪問の精力的実施。	○受給者に対して求人提供を認定日に行いかつ全員相談を実施する。必要に応じて企業説明会、面談会、職業訓練等の勧奨。 ○具体的支援プログラムの提案を受給資格者に行い早期の再就職を促すセミナーの新規実施。
北上	○正社員求人情報の作成。 ○類型別求職者担当制の実施。	○正社員求人情報の作成。 ○類型別求職者担当制の実施。	○所独自セミナーの実施（初回認定日セミナー）。 ○所独自セミナーの実施（ビデオセミナー）。
大船渡	○求職票の完全記入、求職情報の検索が容易になるようなコード化の推進。 ○就職相談会、事業所等見学会、出張相談会の実施。	○毎週1回の求人者と求職者のマッチングのための検討会議の開催。 ○前日受理求人の毎日回覧。	○認定日における全員相談。 ○初回講習会開催による早期就職勧奨。 ○求職者担当制の推進。
二戸	○求職者の求人選択を支援するため、求人事業所との面談会及び見学会を実施。 ○求職条件をふまえた能動的マッチングを実施。	○要件緩和求人のマッチング及び積極的な情報提供。 ○求人充足を支援するため、求人事業所との面談会及び見学会を実施。	○就職支援を目的とした、委託セミナー及び所独自セミナーの受講を勧奨し就職意欲の喚起。 ○個別支援担当者による早期再就職支援。
久慈	○求職者担当制の実施により、雇用保険受給者及び一般求職者へ就職に向けた支援を実施。	○求人充足に向けた求人説明会の開催を実施するほか、求人と求職のマッチングを強化。	○求職者担当制の実施により、雇用保険受給者へ就職に向けた支援を実施。

東日本大震災の被災地のハローワークの頑張り

(大船渡所)

- 主要指標について、過去3年度実績の平均をすべて上回っており、取組に成果。
- 震災の影響から特に人手不足である水産加工業について、生活圈・課題を共有する宮城労働局気仙沼所と連携し、初の合同事業所見学会を開催。「現場を実感でき応募を検討したい」と高評価。
また、所独自で「水産加工の求人企業情報」(水産マップ)を作成・配布。作業風景写真や地図などを取り入れ、特長や自宅との距離感が把握できるなど、応募先選定に成果。
- ①住田町が実施した住民アンケート結果等を受け、町役場内で出張相談を実施。高評価により、28年度から新規オープンした住民交流拠点施設にて本格実施。
②大船渡市と連携し、市の子育て支援施設において子育てママを対象とした出張相談を実施。
- 事業主から聞き取った採否理由に着目。求職者に対し、事業主から見た面接時の印象などを「採用・不採用の決めて」と銘打ち、玄関ホールへ貼出。また、当該取組は他所でも導入。

(今後の取組等)

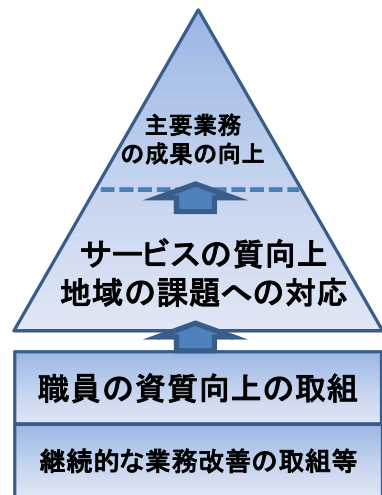
- ⇒ 利用者の評価も高く、希望する働き方を実現するため「子育てママ出張相談」を拡充するとともに、子育てママ応援事業所見学会(バスツアー)を実施予定。



ハローワークの機能強化を図るため、従来の目標管理・業務改善の拡充、マッチング機能に関する業務の総合評価、評価結果等に基づく全国的な業務改善を、平成27年度から一体的に実施。

PDCAサイクルによる 目標管理・業務改善の拡充

- ・ 現行の取組（就職率等を指標にしたPDCAサイクルによる目標管理）を拡充し、業務の質の指標を追加。
- ・ 地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する指標を追加。
- ・ 中長期的な就職支援の強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進。



短期的な成果の向上だけでなく
中長期的な業務の質向上・業務改善を図り
就職支援を強化

ハローワークのマッチング機能 の総合評価・利用者への公表

- ・ 業務の成果や目標達成状況等を定期的に公表
→ 主要指標の実績を毎月、年度後半の取組強化のための分析を年度末に、総合評価を年度終了後に公表

- ・ 業務の成果や質、職員の資質向上・業務改善の取組等の実施状況をもとにハローワークの総合評価を実施。
→ 労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークをグループに分け、その中で比較し評価

- ・ ハローワークごとに実績・総合評価及び業務改善の取組等をまとめ、労働局が公表。



重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、基本統計データ、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表

- ・ 労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。

評価結果等に基づく 全国的な業務改善

- ・ 評価結果等をもとに本省・労働局による重点指導や好事例の全国展開等を実施。

① 評価結果等をもとに労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導

② 改善計画を作成、本省・労働局が重点指導（評価期間終了後）

③ 好事例は全国展開（評価期間終了後）
労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークによる交流也会開催

総合評価の構成

ハローワークのマッチング機能の総合評価は、全ハローワークで共通する指標による評価と、ハローワークごとに地域の特性等を踏まえ重点的に取り組む業務や継続的な業務改善等に関する評価を総合的に勘案して実施。

総合評価を実施

※所重点指標は、ハローワークごとに、評価対象とする業務・取組を選択

全ハローワークで共通する評価 (全所必須指標)

(1) 主要指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する業務のうち特に中核業務の成果を測定する指標に基づく評価

- 就職者数
- 求人充足数
- 雇用保険受給者の早期再就職件数

(2) 補助指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する業務の質を測定する指標に基づく評価

- 満足度調査
- 紹介成功率

ハローワークごとの重点的な取組の評価 (所重点指標・所重点項目)

(1) 所重点指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する重要業務のうち、地域の雇用に関する課題等を踏まえ、ハローワークごとに重点として取り組む業務に関する指標に基づく評価

- 障害者の就職者数
- 正社員求人数
- 生活保護受給者等の就職者数 など

(2) 所重点項目に対する評価

中長期的なマッチング機能向上のための、職員の資質向上の取組や継続的な業務改善の取組等の実施状況を評価

- 職員による事業所訪問の実施
- 求職者担当者制の実施
- 職員による計画的なキャリア・コンサルティング研修の受講
- 好事例を導入した業務改善を実施 など

**「日本再興戦略」改訂2014～未来への挑戦～（ハローワーク関係抜粋）
平成26年6月24日(閣議決定)**

2. 雇用制度改革・人材力の強化

2-1. 失業なき労働移動の実現／マッチング機能の強化／多様な働き方の実現

(3)新たに講ずべき具体的施策

iii) 外部労働市場の活性化による失業なき労働移動の実現

「企業外でも能力を高め、適職に移動できる社会」を構築するため、国、地方、民間を含めたオールジャパンで円滑な労働移動を実現するための取組を抜本的に強化する。このため、以下のとおり施策を充実させる。

④官民協働による外部労働市場のマッチング機能の強化

ハローワークの機能強化のため、各所ごとのパフォーマンスの比較・公表、意欲を持って取り組む職員が評価される仕組みの構築について、今年度中に具体的な方策の検討を行い、2015年度から実施する。(中略)さらに、ハローワークと地方自治体との連携強化が全国的に進展するよう、ベストプラクティスの整理を進め、普及を図る。